



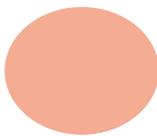
## 研修医日記

作成者：及川迪香（2年次）

こんにちは、皆様いかがお過ごしでしょうか？寒さがいきなり襲ってきたことで体調を崩された方も多いのではないかと思います。人間健康が一番ですから皆様が元気に過ごすことができるよう微力ながら祈っております。

さて、最近色にはまっています。どういうこと？となりますね。日本には伝統色というものがあります。これがとてもいい色な上に美しい名前のもので多くあるのです！今回はそれらを紹介させていただこうと思います。

## ○東雲色（しのめいろ）



東雲とは、明け方の東の空にたなびく雲という意味があります。

初見のときはそんな情景豊かな色表現ある！？と驚きました。

別名曙色（あけぼのいろ）

## ○紫紺（しこん）



これは私の母校の旗の色です。

応援歌にも「紫紺の旗を～♪」という歌詞がありました。

とってもカッコいい名前。

## ○浅葱色（あさぎいろ）



蓼藍で染めた明るい青緑色。薄い葱（ネギ）の葉の色。

「〇〇浅葱」と浅葱がつく色の種類が多い。

新撰組の羽織の色としても有名ですね！

## ○甕覗（かめのぞき）



藍染の淡い青色です。藍染は藍甕に布を付けては取り出すを繰り返して、

濃い色にしていきます。そんな藍染ですがこれは甕に少し浸した程度。

甕をちょっと覗くだけ！という意味の色だなんてかわいいですね。

いかがでしたか？まだまだいっぱいあります！全く読み方の検討がつかないものや、全然色がピンとこない名前色もありますのでこれを機にぜひ調べてみてください。

「何の色が好き？」という本当に会話がなくなったときにされる定番の質問に対して、「んー、黄海松茶色（きみるちゃいろ）！」と答えて相手をぽかんとさせていくのもいいかもしれません。

それではこのあたりで、さようなら。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。